



自学・敬愛・誠実

三原の嶺より

◆学校教育目標◆

- ・自ら進んで学び
- ・自然や人を愛し
- ・たくましく生きる生徒

令和4年12月19日（令和4年度 第8号）

発行責任者 大島町立第一中学校長

生徒の道徳性が伸び、登校するのが楽しく、安全な学校
確かな力のつく学校、地域に学び、地域とともに歩む学校

夢中でやる

校長

12月6日（火）第37回大島町立小・中学校連合音楽会が、3年ぶりに大島町開発総合センターで行われ、本校の1・2年生が日頃の授業を含めた音楽活動の成果を発表しました。1年生は声量がありハーモニーも良く、2年生は表情と声の強弱を意識しながら歌詞に込められた思いを表現した素晴らしい合唱を披露してくれました。特に1・2年生合同で歌った「大島よ、いつまでも」は、郷土大島を愛する思いが伝わり、感動と共に会場全体を温かく包み込んでくれました。これも一中祭での取り組みで見せてくれた3年生の存在が大きかったように思います。先輩の姿から下級生が大きく育つ第一中学校の校風を大切に、これからも日々の学校生活を充実させてほしいと思います。

さて、サッカーの大会における世界最高峰と位置付けられたFIFAワールドカップカタール2022大会が行われ、日本代表が予選リーグで優勝経験のあるドイツやスペインに勝ち見事ベスト16、日本中に感動と勇気を与えてくれました。特に決勝リーグで惜しくもクロアチアに負けはしましたが、会場を去る前にロッカールームを清掃し、鶴を折ってアラビア語で感謝の言葉を記したことや森保監督がスタンドに向かって深々とお辞儀をしてファンの方たちに感謝を示した行為は学ぶべき姿であり、本校が大切にしている礼節そのものだと思います。

そのサッカーワールドカップですが、日本選手の応援とともに注目したのが新たな歴史を切り拓いた山下良美さんです。このカタール大会から男子サッカーワールドカップとしては初めとなる女性審判員が3人選ばれましたが、山下さんはそのうちの一人です。11月23日にはベルギー対カナダ戦で見事ワールドカップでのデビューを果たしました。

山下さんは4歳からサッカーを始め、大学では女子サッカー部に所属します。選手から審判員に転じたのは、先輩に誘われたからだそうです。その時は、審判への興味もなく、あまりやりたくなかったそうですが、これが山下さんの人生を大きく変えました。現在、日本サッカー協会に登録している審判員は26万人を超えるそうですが、国際主審は男女合わせて11人のみで山下さんはその狭き門を突破し、2015年に国際審判員となりました。女子ワールドカップや東京五輪で主審を務め、昨年5月にはJリーグ28年の歴史で初めて女性の主審として男子の試合を裁きました。サッカーの審判ほど過酷なものはないと言われていて、それは運動量が多く審判もそれに応じて一緒に走ります。特に女子の試合と違って男子サッカーは、運動量が想像を超えるくらい激しいものだそうです。山下さんが登録した2019年での1級審判員では、40m走×6本を6秒以内連続で走るという男性同様の基準をクリアするなどフィジカルの向上に努めています。また、プロとして必要な語学力を磨く努力を怠らないなど自分のできる努力を最大限やっているからこそ周りからの信頼も厚いのでしょう。山下さんのモットーは目の前にあるものを夢中でやることだそうです。

今年もコロナ過で迎える年末年始ではありますが、一年の節目でもあります。家庭での役割をしっかりと果たしながら落ち着いた中で一年を振り返り、新たな目標を立てさせたいものです。新年もどうぞよろしくお願いたします。

第49回 一中祭 11月19日(土)

『個性よ輝け！！～手と手を取り合い個性の森へ～』というスローガンを掲げ、一中祭活動は始まりました。昨年度よりも意識したことは「より生徒自身が運営を行っていくこと」でした。教員側が事前に十分な準備をし、それを生徒が実行するだけでは学校行事が本当の目的とするところではありません。時間がかかり、手間もかかる、しかしそれでも生徒が中心となって運営していく。その方が生徒自身の「個性」が発揮されると信じています。そして、その方が生徒たちの顔がいきいきしています。実行委員、それぞれの発表団体、生徒一人一人がやりきることができました。終わった後の笑顔がそれを物語っていると思います。実行委員会のメンバーの「個性」が発揮され、それが他の生徒に広がっていき、それぞれの舞台発表で「団体としての個性」が発揮される。そして、それが束となり「学校としての個性」となっていく。その繰り返しがいつしか伝統と呼ばれていくのではないのでしょうか。今年も胸を張って、「生徒の頑張りで第一中学校の歴史に刻むことができるような一中祭だった」と言えるものとなりました。

(文責：一中祭担当)

【弁論大会】

最優秀賞
三年



- | | |
|-------|----------------|
| 最優秀賞 | 「落とし物」 |
| 優秀賞 | 「瓶の中のノミ」 |
| 同 | 「結構嫌われている教科」 |
| 同 | 「今の社会に生きる人」 |
| 同 | 「魔法の言葉」 |
| 同 | 「変わる」 |
| 同 | 「これからの生き方」 |
| 同 | 「結果に対しての行動」 |
| 同 | 「自分の弱さ」 |
| 高校生招待 | 「底知れぬ島の魅力を世界に」 |



【合唱発表会】




【PTA 発表】

今年も大島高校の生徒さん（吹奏楽部、郷土芸能部、陸上部）に来ていただきました。

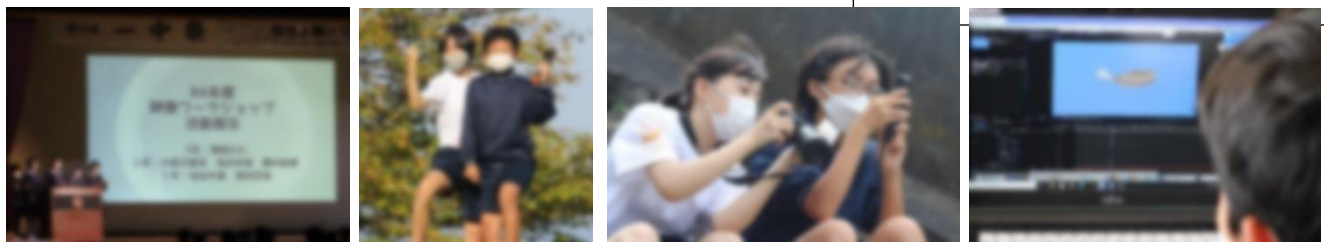


【美術部発表】

令和3年度の卒業生が音楽の授業で作詞作曲した「大島よ、いつまでも」という楽曲のミュージックビデオを東京工芸大学映像学科の李教授とゼミ生（大学生）と一緒に制作しました。映像ワークショップに参加した部員は最初、緊張していましたが、難しい技術や専門用語も分かりやすく教えてくれる大学生の皆さんのおかげで、楽しく過ごすことができましたようです。部員たちの真剣な眼差し、オンライン会議では画面にかじりつき、積極的に参加していました。終始笑顔とユーモア溢れる映像ワークショップ、一人一人のこだわりの詰まったミュージックビデオとなりました。一中祭を節目に引退する3年生にとって、一中の美術部らしいプレゼントになったと思います。



去年から引き続き、一中祭で美術部の映像ワークショップについて発表できてよかったです。今年の発表は去年とは違い、去年0から1にしたものを何倍にもよくするという作業で難しいものでしたが、支え合い、たくさんのアドバイスをいただいたことで、よいものにできました。一中祭での発表から、美術部が普段する機会のない、たくさんの人に伝えるという良い経験ができました。これからも前年を超えていくような発表ができると確信しています。元美術部部长 猪股みわさん



【吹奏楽部発表】

一中祭に向けての練習は、係や弁士練習などが重なり、なかなか全員そろっての合奏というのが多くできませんでした。ですが部員が少ない中でもよりレベルの高い、少人数だと思われない演奏にしようという部員全員で頑張りました。本番、見ている人が大いに盛り上げてくれて、吹いていてすごく楽しいと思いました。見ていた3年生も「感動した」と言ってくれて、3年間で一番楽しく思い出に残る一中祭でした。（吹奏楽部部长 3年 小池莉奈）



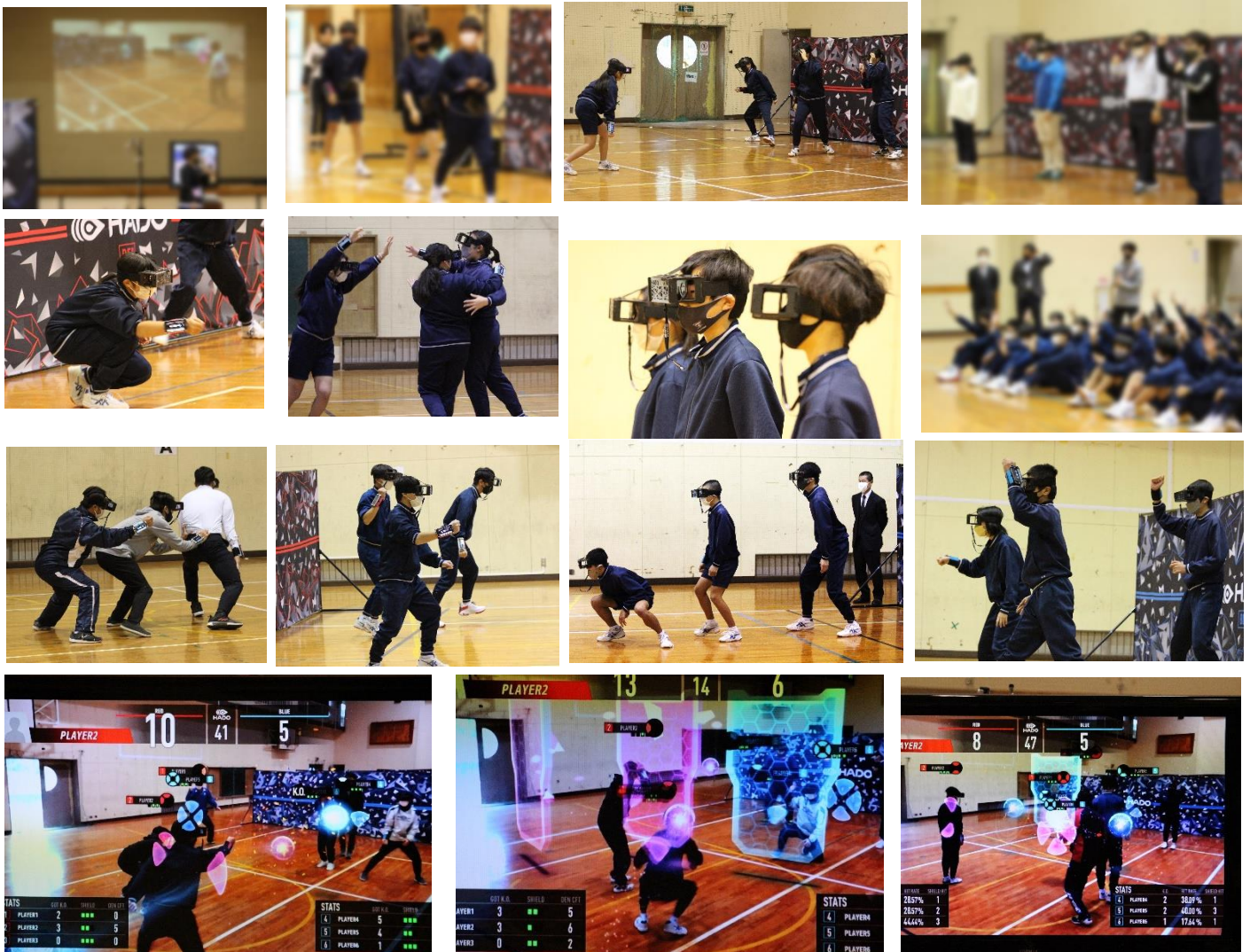
子供を笑顔にするプロジェクト(HADO スポーツ)

12月5日(月)に『子供を笑顔にするプロジェクト』の一環としてHADO スポーツを全校生徒が体験しました。『子供を笑顔にするプロジェクト』は、コロナにより、友達との関わりや行事等に様々な制約のある学校生活を送っている子供たちに、多様な体験活動を通じて、笑顔になってほしい。友達と共に心を動かされる体験や思い出に残る様々な機会を通じて、前向きに感性を育ててほしいという思いから、都内の公立・私立の学校を対象に行われているプロジェクトです。

[HADO とは…]

新時代のARスポーツ(ARは現実世界に仮想世界を持ち出す技術)です。HADOは「波動弾を打ちたい」という思いから名付けられたそうです。現実世界では不可能な魔法のような技を繰り出すことができます。頭にヘッドマウントディスプレイ、腕にはアームセンサーを装着し、決められた動作によって技を発動させます。プレイヤーの位置を瞬時に把握でき、CGの技をリアルタイムで出現させることが可能となり、自分の体を動かすと同時に技を繰り出せることで、臨場感や爽快感を味わえるスポーツです。80秒という短い制限時間で3対3のチーム戦を行います。相手チームの選手がそれぞれもっている4枚のライフを全て削ると1点が加算されるゲームで、チームの総得点で勝敗が決します。

HADO体験は体育館で行われ、最初に講師の先生の説明を聞き、デモンストレーションを見ました。攻撃の仕方や防御の仕方を学んでから2つのコートに分かれ実際にHADOスポーツを体験しました。ステージ側は3年生と1年生、入口側は2年生と1年生の各チームがコートに入り白熱の試合を行いました。後半には先生方の対戦や順位決定戦なども行われ、約2時間半の体験はあっという間に過ぎ去りました。初めての体験に全生徒が夢中になり笑顔が溢れる活動になりました。HADOは日本発祥のスポーツで中学生から公認チームを作れるということですので、将来世界の舞台で活躍する人が出てくるかもしれません。以下は臨場感溢れる活動の様子です。



パンジーボランティア

11月30日(水)放課後にパンジーボランティアを実施しました。この活動は、卒業式・入学式でステージ上に飾るパンジーの植え付けを行うもので、毎年受け継がれている活動の一つです。今年度は、生活委員会で参加者を募り、主に2学年の委員が運営を務めました。分かりやすく丁寧な植え方の説明があり、花を植えるのが初めてという生徒も上手に作業を進めていました。また、多くの生徒が参加し、とても温かい雰囲気の中で作業が行われました。春にたくさんの綺麗な花を咲かせ、お祝いの会場に彩りを添えることができるよう、生活委員会が朝活動にて大切にお世話していきます。

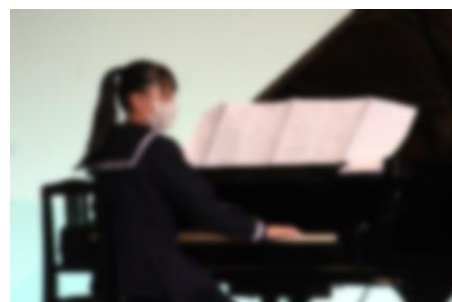


連合音楽会(12月6日)

連合音楽会が3年ぶりに大島町開発総合センターで会場開催されました。第一中学校は、1年生が「地球星歌～笑顔のために～」2年生が「HEIWAの鐘」そして1、2年生合唱で「大島よ、いつまでも」を第二中学校、第三中学校の前で披露しました。特に1年生は初めての会場開催での連合音楽会ということで緊張する雰囲気もありましたが、本番は一中祭の時よりもすてきな歌声を会場に響かせることができました。それに続く2年生は上級生として、より堂々とした歌声で歌うことができていました。そして最後の「大島よ、いつまでも」の1、2年生合唱では、第一中学校ならではの迫力がある合唱を披露することができました。

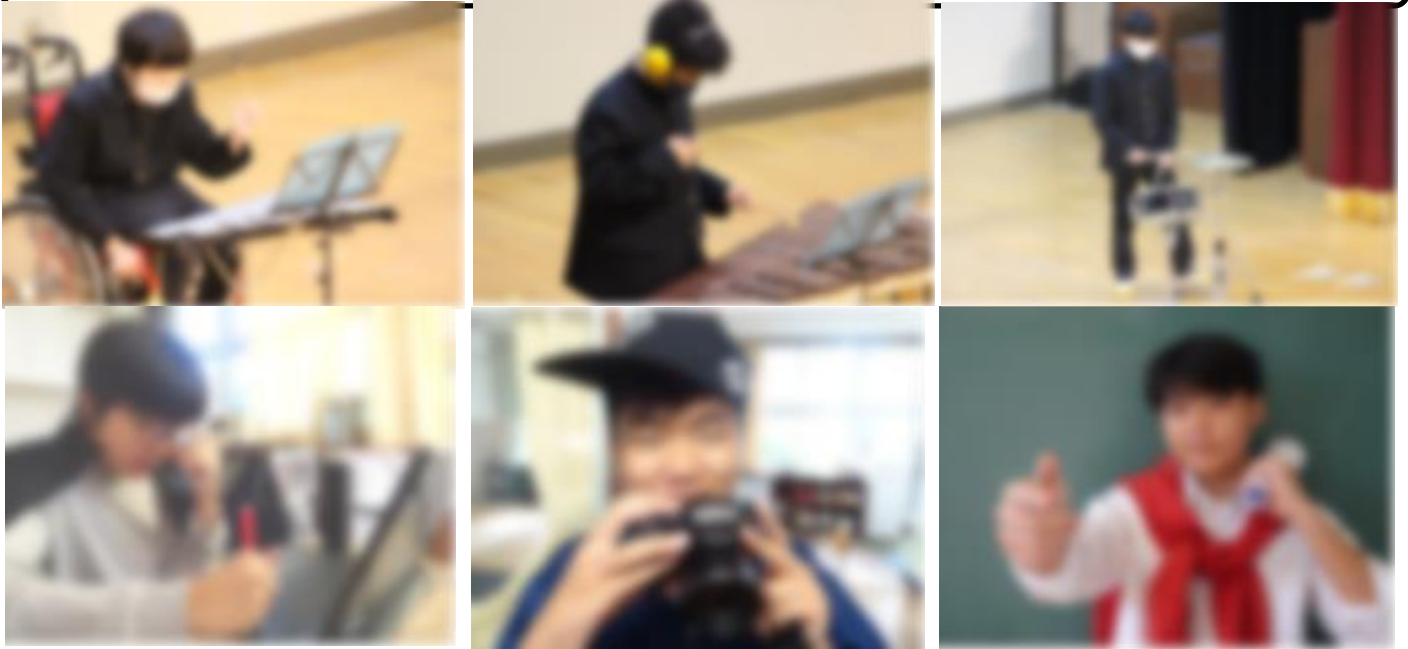
今回は小学生の部と中学生の部に分かれての開催でしたが、自分たちが人前で歌うだけでなく、各校の生合唱・演奏を鑑賞することもでき、生徒たちにとってとても良い経験となりました。

当日はお忙しい中ご来場して下さった保護者の皆さま、ありがとうございました。



くろしお学級のコーナー

一中祭 応援ありがとうございました！今年は生徒が主体となって動画づくりを行いました。



海のふるさと村で飯盒炊飯とBBQをしました。晴天に恵まれ最高でした！！



事前学習では学校で火起こしと焼き芋を行いました。火は上の方向に向かうことを学んでいました。



冬休み中の生徒指導(保護者・地域の皆様へお願い)

第一中学校では冬休みの過ごし方について下記の資料を基に生徒への指導を行います。
年末年始も健全な生活を送れるよう、皆様にも休み中の一中生を見守っていただけると幸いです。

家庭・地域生活での心得

- 1 家族や地域社会の一員であることの自覚をもち社会生活のよき体験の機会としよう。
 - ①自ら進んで仕事を分担し、家事の手伝いなどを積極的に行おう。
 - ②地域社会の一員として、ルールやマナーを守り、進んで地域の活動に参加しよう。
- 2 規則正しい生活をしよう。
 - ①計画表や日課表をつくり、毎日の生活を規則正しいものにしよう。
 - ②自分に合った実行可能な計画を立て、冬休み全体を通じての目標を決め、それを達成できる努力をしよう。
 - ③毎日の生活のけじめをつけるために、日記や学習記録などを付けて一日を振り返り、翌日以後の生活や学習に生かせるよう工夫しよう。
- 3 健康・安全に気を配り、一中生にふさわしい日々を送ろう。
 - ①年末年始は交通量も多くなります。交通ルールを守り、安全な生活を心がけよう。
 - ・自転車の二人乗りやバイクなどに安易に同乗しない。
 - ・自転車の無謀運転はしない。車輪の巻き込みにも注意する。
 - ・路上での遊びは避ける。
 - ②飲酒・喫煙は法律に触れる行為です。誘われても絶対に断る。
 - ③外泊は禁止です。
 - ・暗くなったら家に帰り、子供だけの外出はしないのが常識ある行動です。思わぬ事故や事件に巻き込まれたり、非行につながるおそれがあるのでしないこと。
 - 21時以降の夜間徘徊は補導の対象となります。
 - ④島外旅行は、責任のある人の下で行うようにする。
 - ・友達同士での旅行はしない。
 - ⑤中学生はアルバイトできません。
 - ⑥外出するときには、危険を避ける意味からも中学生らしい服装を心がけよう。
 - ⑦この時期は、生活が不規則になり健康を害しやすいので、十分な睡眠と栄養、適度な運動を心がけよう。
 - ⑧火遊びなどは、火災につながるのをやめよう。
 - ⑨小学校のグラウンド、他校の施設、開発センター等の公共の施設、地域の公園やお店などを利用する際は、使用させてもらうことをきちんと断り、マナーを守って利用すること。入ってはいけない場所、使ってはいけない物等、ルールを守り、使用後はゴミの始末などを徹底すること。他の利用者への配慮もできる一中生であろう。
 - ⑩携帯電話、インターネットや電子メールに関わる事件やトラブルが急増しています。利用する際は、ルールやマナーを守り、犯罪やトラブルに巻き込まれないよう十分に注意しよう。また、個人的な情報を流したり、知らない相手とのやりとりをしないようにしよう。
- 4 金銭は計画的に価値ある使い方をしよう。
 - ①お年玉など小遣いの多くなる時です。見通しをもって計画的に使うように心がけよう。
 - ②友達同士での金銭の貸し借りはトラブルの原因となるのでしない。
- 5 その他
 - ①事故等にあった場合は、学校に電話連絡すること。
 - ②12月29日から1月3日まで学校施設は利用できません。
 - ③「一年の計は元旦にあり」です。若者らしい活気ある日々を送るためにも、目標を高く掲げよう。



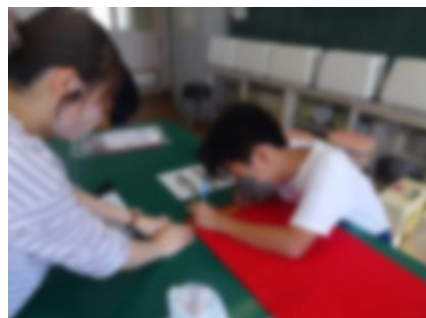
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、冬休み期間中も感染症対策をしっかりと行うようご協力を願います。

教科の紹介(家庭科)

2年生では、裁縫の基礎技能を身に付けることを目指し、メッシュポーチを製作しています。ファスナーを手縫いで取り付ける作業は初めての生徒が多く、最初は苦戦している様子も見られましたが、作業に慣れてくるとサクサクと縫い進められています。困っていることや分からないことは友達同士で協力し合って取り組んでいる姿が印象的です。

3年生では、1学期より自分の成長を振り返りながら、幼児のことについて学習してきました。2学期より、幼児のおもちゃとしてぬいぐるみを製作しています。自分の好きな動物を選ぶところから始まり、製作を進めながら「かわいい」「どんな表情にしようかな」「〇〇さんのぬいぐるみはどんなぬいぐるみになるのかな」など、和気あいあいとした雰囲気です。意欲的に製作に取り組んでいます。

来年1月には連合作品展が開かれる予定です。授業で製作した作品は連合作品展で展示しようと考えています。ぜひ完成を楽しみにしていただければと思います。



1月行事予定

10日(火) 始業式
 11日(水) 都立推薦出願 避難訓練
 12日(木) 3年学力テスト
 13日(金) 1年職場訪問 連合作品展(始)
 16日(月) 心理士来校
 17日(火) 連合作品展(終)
 20日(金) 俳句教室

23日(月) 1・2年三送会合同集会
 24日(火) 2年がん教育
 26・27日(木・金) 都立推薦入試
 27日(金) 全学年天文学講座
 31日(火) 脊柱側彎検診
 SC出勤日 12日(木)・13日(金)・19日(木)
 20日(金)・26日(木)・27日(金)

お知らせ

- ① 本校では、保護者の皆様のご協力を得て体罰や暴力のない学校づくりを目指しています。生徒が安心して学校生活ができるよう、朝礼において「体罰」について触れ、各学級においてアンケートを実施しました。また、体罰防止の教員研修も実施しております。お子様について心配なことがあればいつでもご相談ください。
- ② 12月29日より1月3日まで学校は閉庁日となり、教職員は不在となります。警備員は常駐しておりますので、緊急のご連絡は学校の方へお願いいたします。また、学校施設の一般開放は原則としていたしません。